

## 第 22 回（令和 6 年度）新潟市議会議会報告会 開催結果

### 1. 開催結果

開催日時 令和 7 年 2 月 2 日（日）午前 10 時から  
会 場 東区プラザ・西川地区公民館  
参加者数 55 名（会場：37 名 オンライン：18 名）  
出席議員 27 名

### 2. 会場ごとの開催結果

会場名	時間	参加者数
東区プラザ	午前 10 時から午前 11 時 30 分	19 人
西川地区公民館	午前 10 時から午前 11 時 25 分	36 人 (うちオンライン参加:18 人)

### 2. 開催内容

#### (1) 概要

##### 第 1 部 議会報告

：にいがた市議会だより第 108 号（2 月 2 日発行）の説明及び 12 月定例会での各常任委員会の議論の要旨などを報告。

##### 第 2 部 意見を聴く会

：市政や議会について質疑・意見聴取。

#### (2) 主な意見・質問・要望および答弁（会場別）

##### 東区プラザ

○：参加者の発言要旨  
→：議員の答弁要旨

○鳥屋野運動公園野球場の利用方法について、子どもたちが利用できるようにするのか、プロ用にするのか、教えてほしい。

→さまざまな議論が出ている。今いただいた内容を含め検討する。

○「ブルーリボン」を付けていない議員がいるが、その理由は。

→今日は付けていない議員もいるが、いつも付けるようにする。

○市長が3ヶ月も休職。リモートで指示をした内容を市民に知らせて欲しい。

市長選があるとも思っていた。休職するのであればその都度知らせて欲しい。  
→市長はナント市への出張の前日に不調を訴えた。市長の耳にも皆さんの声は届いていると思う。副市長経由でも市政運営は機能していたが、市長が長期不在の場合の対応策を考えていく。市長の進退は選挙で選ばれているので本人の意向で決めることである。

○市長の休職について、市民に対して何も聞かされていない。市長の体調について、市長の口から聞きたい。なぜ議会から指摘しないのか。

→議会としても様々な考えがあるため、意見として頂戴する。

○新潟三越、西堀ローサ、東大通などの利用方法はどうか。

→新潟三越の跡地については施工業者を探している。全国的な建設業の人手不足があり、対応できる業者が見つからず、ヒアリングを継続している。見守ってほしい。東大通の再整備については、駅から古町まで歩いていけるように、歩道または中央分離帯を広げ歩行者が過ごしやすい空間とする計画。社会実験の成果を見ながら検討中であり、皆さんの意見を聞いて考える。

○始発の新幹線、空港を利用する足がない。「にいがた2km」計画は良いが駅に行くまでが大変である。ライドシェアの早期実施を願う。

→バス、タクシーの運転手不足があり、南区ではライドシェアの事業を開始した。交通弱者の人を救えるように、ライドシェアや自動運転を含め検討していく。

また、市議会では、「地域公共交通調査特別委員会」を設置し、多様な研究を進めている。今年6月を目途に、市議会として市の担当課へ地域公共交通の在り方について提言を行う予定である。提言の内容は地域公共交通調査特別委員会の中間報告としてまとめ、報告内容が記載された議事録を市議会のホームページで公開する。

○空港方面へアクセスがしやすいように道路改良してほしい。

→空港まで行く際に、道路を曲がらず、直線で行けるように検討してほしいという意見は担当課に伝える。予算も含めて考えたい。

○東区内に名前がない通りがあり、説明するのに困っている。空港線などと同様に通りに名称を付けてほしい。

→私もわかりにくいと実感しており、実現していきたいと思う。担当課に意見として伝える。

○災害時の避難所の環境整備について。地区によって格差がないようにしてほしい。トイレカーはあるのか。政令市として恥ずかしくない災害対策をしてほしい。

→避難所整備は喫緊の課題であると認識している。段ボールベッドなどは各避難所に設置されていなくても各区には配置している。トイレトレーラーは中央区に1台あり、災害時には他の市町村と相互で利用を考えている。

○災害時のトイレについて、お金がかかるトイレだけでなく、簡易トイレや公園のトイレの活用なども周知し、自治会単位で備蓄を考えるべきではないか。

→自治会などの小さい単位で必要な備蓄をするという発想は非常に重要である。自治会などへの補助金も含めて適切な方法を考えていきたい。また、自治会の防災訓練などに消防団が出向き携帯トイレのPRをしていく。

○備蓄米について。輸出するくらいなら国民に回してほしい。

→議会でも9月定例会の一般質問で米の問題を取り上げた。国にも意見している。

○地震後の説明会資料について、図書館等に設置するなどし、紙での配布を求める。

→震災対応資料の紙での配布については検討する。

○バス無料デーは、休日の時刻表で実施されたため、車内が混雑した。平日の時刻表での実施を希望する。

→平日を含めて今後検討する。

○インボイスへの対応について。議員の政務活動費などを見ると、インボイスに対応していない。自治会やコミ協ではできないので議員が取り組みを見せてほしい。

→議員は個人事業者等ではないので、インボイスには対応していない。

○バスの乗り換えを廃止してほしい。

→東区から古町方面へ向かう際と西区では青山で乗り換えが生じている。バス路線の見直し等については、新潟交通と市で検討する。

○市の借金はいくらか。金利はいくら払っているか。

→詳しい数値は後日回答する。

○市議会だよりに陳情の記載をなくしたのはなぜか。

→市議会だより 8月発行号の106号よりリニューアルし、見やすくするため、デザインを一新し文字数も削減した。今後もより良い紙面となるようしっかり話し合う。

○市議会だより 108号に主権者教育の推進として新津第二中学校が掲載されている。高校もあったのかなど、主権者教育の取り組みについて、詳しく知りたい。

→2019年以前から活動していた。中学・高校で行い、年間の実績は3～4校。校長からオファーがあった学校で行う。白根高校からもオファーがあり、実施したことがある。当日の内容は校長と検討し行っている。

○2027年蛍光灯がなくなる。市として対策は行っているのか。

→ご指摘は受け止めて検討する。

○世帯分離を行うことで介護の費用を抑える世帯があり不平等を感じる。適切な判断をしてほしい。

→議会でも検討し、担当部署に伝える。

○給食費の無償化について、新潟市は遅れている。子育てしやすい環境を希望する。

→無償化について国の役割という考えと市独自で先行するという考えと、市議会の中でも意見が分かれており、議論をしているところである。

○議会報告会の要項が変わった。議員の方々と対面して話す機会は大切であり、引き続き各区で開催してほしい。また、報告会の在り方は市民と一緒に交わって話し合いが必要。

→以前から報告会は参加者が少なく議会で検討して現在の形になっている。参加者を増やしたいと考えている。

## 西川地区公民館

○子どもの権利を守る学校給食の無償化を1日でも早く実現してほしい。

→予算の問題もあり、今は保留という形である。国が全国一律でやるべきだといような意見が出たことも報告をさせていただく。

○手話をわかってほしい。もっともっと手話が普及されたらいいと思う。期待している。

→新潟市手話言語条例を制定している。まだ普及が足りないというご指摘だと思ふ。ぜひ今後とも頑張らせていただきたい。

○東区役所について、広すぎるやもっと有効に活用できるのではないかと、この部分はいらぬのではないかと、そういう意見はないか。

→大きさにすると2,000平米ほどのスペースが使われていなかった。去年の5月から、毎日開店している日本最大級の規模の子ども食堂が入った。だが、1,000平米ほど空いているという実情はある。そこについては、今後何か使いたいといった意見や、サウンディング調査などで提案事業が地域の方から寄せられることがあった時には検討する。

○地方の格差もあるが、新潟市の中でも行政施設などに格差ある。これも是正してほしい。

→担当課にも伝え、周知を徹底するよう話す。

○昨年1月の震災で75億円を取り崩し、40億円ほど財政調整基金が減少したと伺っている。大雪や災害などへの対処に充てるために基金が必要になってくるが、どう積み立てるのか。税金の使われ方と市政の透明化という視点からも、他の政令市で実施されている事務事業評価の導入が不可欠と考える。

→決算審査において、この事業評価を確認するのも議会の務めである。必要かどうか議会の中で考えていきたい。少しずつでも基金を積み増しできるよう、しっかりと議会で監視していきたい。

○これからどのように行財政改革をしていくのか。市民が直接見られるよう透明化していただきたい。

→今後、YouTubeなどで議会の議論の生中継ができないかも検討している。最終的にどういう形で合意形成を図っていくのか、皆さんに直に見ていただけるような仕組みも含め議論していく。

○この場に、どうして西蒲区選出の議員がいないのか。

→過去の開催状況やアンケートでの意見を踏まえ、議会報告会の実施要項を改正した。今後、様々な実施方法を検証していく。令和5年度は1か所で、出席議員も選出区に関わらず参加し開催した。今年度は、2か所で、地元議員が出席しない方針で開催することとした。いただいた意見も今後の参考にする。

○調整区域に該当し、開発とうまく連動していない。市街化調整区域の緩和について話を聞かせてもらいたい。

→農業に対する、国の青地に対する考え方が、非常に厳しくてなかなか外せない状況である。農政の法的なものが1番に来ており、変えられない現状である。空閑地と呼ばれる区域に関しては、新潟市では一部規制の緩和政策を図っている。今、新潟市の中で線引きの見直しエリアとして提案されているのは15地区の15のエリアである。

## 第2部 意見を聴く会 当日回答保留とした質問

会場	質問	回答
東区プラザ	新潟市の借金はいくらか。 金利はいくら払っているか。	一般会計と特別会計を合わせた、全会計の令和5年度末の市債残高は9,906億。また、令和5年度の利子償還額は70億円。